



2023年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月7日

上場会社名 ヤマト インターナショナル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8127 URL http://www.yamatointr.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 盤若 智基
 問合せ先責任者 (役職名) IR経営企画室長 (氏名) 保田 大輔 TEL 03-5493-5629
 四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第3四半期の連結業績（2022年9月1日～2023年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第3四半期	16,052	9.0	473	95.8	718	18.1	578	20.5
2022年8月期第3四半期	14,731	-	241	-	608	-	480	-

(注) 包括利益 2023年8月期第3四半期 733百万円 (209.8%) 2022年8月期第3四半期 236百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第3四半期	28.16	-
2022年8月期第3四半期	23.37	-

(注) 2022年8月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しており、2022年8月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年8月期第3四半期	23,067	16,604	72.0	808.15
2022年8月期	21,385	15,994	74.8	778.45

(参考) 自己資本 2023年8月期第3四半期 16,604百万円 2022年8月期 15,994百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	-	0.00	-	6.00	6.00
2023年8月期	-	0.00	-	-	-
2023年8月期（予想）	-	-	-	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年8月期の連結業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,460	10.6	250	72.8	480	△25.1	360	△20.4	17.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期3Q	21,302,936株	2022年8月期	21,302,936株
② 期末自己株式数	2023年8月期3Q	756,857株	2022年8月期	756,360株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期3Q	20,546,370株	2022年8月期3Q	20,546,750株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類へ移行し、経済活動の正常化が本格的に進んだ一方、ウクライナ情勢の長期化等による資源価格の上昇や金融資本市場の変動等、依然として予断を許さない状況が続いており、先行き不透明な状況で推移いたしました。

一方、当アパレル・ファッション業界におきましては、お客様の外出機会の増加や、インバウンド需要の復調により回復基調で推移いたしました。急激な物価上昇による個人消費への影響が引き続き懸念されております。

このような経営環境の中、当社グループは「ものを創り 人を創り お客様と共に心豊かな毎日を創る」という不変のミッションのもと、3年後のあるべき姿を目指した中期ビジョン「Yamato2023」を推進しております。人々のライフスタイルや価値観が様変わりする中で、いつの時代でも どのような環境下でも、お客様の不満や問題を解決し 求められるものを提供し 最初に想起される真のブランド「シン・ブランド創り」を目指してまいります。

基幹事業である「クロコダイル」は、1963年の販売開始以来、長きにわたり愛され続け2023年に60周年を迎える当社のオリジナルブランドです。「"大人のTPO"をスマートに演出するブランド」をコンセプトに、改めて原点である顧客起点に立ち返り、既顧客の満足度向上と活性化に繋がる商品の強みや付加価値を戦略的に構築し、また潜在顧客が興味を持ち共感できる新しいスタイルを提案してまいります。更に商品、店舗、関西・関東におけるTVCM放映をはじめとするコミュニケーション等すべてにおいて一貫性を保ち提供することで、お客様のブランドに対する認知・認識を深め顧客を獲得し、事業の持続的な成長を目指してまいります。

「創造的な移動を続ける都市生活者のための機能服」をコンセプトに、オンラインショップをベースに展開する「CITERA (シテラ)」は、常に快適で洗練された、時代に響くスタイルを創り出しております。ブランドの顔となる商品開発等に引き続き注力することで更なる売上拡大を目指してまいります。また、米国発アウトドアファッションブランド「Penfield (ペンフィールド)」は、これまでの国内事業に加え新たなライセンスパートナーとして上海パワーリッチ社を迎え、北京三里屯のショッピングモールへの出店を皮切りに中国ライセンス事業の展開を開始しております。ハワイ発カジュアルサーフブランド「Lightning Bolt (ライトニングボルト)」と共に引き続きブランド認知度と価値向上に注力し、ライセンス事業の拡大を目指してまいります。

一方、当社グループの物流業務を請け負う子会社ヤマト ファッションサービス株式会社は、在庫管理や入出荷業務の精度向上に努めるとともに、自動ソーター及び自動製封函機の導入等により、業務の自動化や省人化を推進することで資材や光熱費の高騰にも対応し、更なる生産性向上を図っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高が160億5千2百万円（前年同期比9.0%増）となりました。利益面では売上総利益率は57.9%（前年同期比1.0ポイント減）となり、販売費及び一般管理費については88億2千7百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益は4億7千3百万円（前年同期比95.8%増）、経常利益は7億1千8百万円（前年同期比18.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億7千8百万円（前年同期比20.5%増）となりました。

セグメントごとの売上高では、繊維製品製造販売業158億3千5百万円（前年同期比9.1%増）、不動産賃貸事業2億1千6百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は112億8千8百万円となり、前連結会計年度末と比べ15億5千1百万円増加いたしました。主な要因は、商品及び製品が10億1千7百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が5億7千2百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。なお、現金及び預金と有価証券を合わせた手元流動性資金は66億3千4百万円から4百万円増加し66億3千9百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は117億7千8百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億3千1百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券が6千5百万円、有形固定資産が4千4百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は230億6千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億8千2百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は52億6千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億8千3百万円増加いたしました。主な要因は、電子記録債務が9億1千2百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金が2億3千5百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は11億9千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億8千8百万円増加いたしました。主な要因は、長期借入金が4億2千4百万円、繰延税金負債が7千6百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は64億6千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億7千2百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は166億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億9百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が4億5千5百万円、その他有価証券評価差額金が1億5千7百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は72.0%（前連結会計年度末は74.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月期の連結業績予想については、2023年3月17日に公表しました内容に変更はございません。（なお、業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。）

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,605,913	5,139,286
受取手形、売掛金及び契約資産	1,212,822	1,785,729
有価証券	1,028,478	1,499,847
商品及び製品	1,666,004	2,683,038
仕掛品	90,625	84,886
その他	135,424	96,263
貸倒引当金	△1,493	△188
流動資産合計	9,737,777	11,288,862
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,163,938	1,204,645
機械装置及び運搬具（純額）	115,149	100,856
土地	5,179,068	5,179,068
リース資産（純額）	61,128	48,737
その他（純額）	36,905	67,027
有形固定資産合計	6,556,189	6,600,335
無形固定資産		
投資その他の資産	25,123	19,014
投資有価証券	4,738,403	4,804,353
差入保証金	74,744	93,562
退職給付に係る資産	191,398	190,668
繰延税金資産	2,215	2,783
その他	86,882	95,328
貸倒引当金	△27,671	△27,671
投資その他の資産合計	5,065,973	5,159,025
固定資産合計	11,647,286	11,778,375
資産合計	21,385,063	23,067,238

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	685,098	673,029
電子記録債務	2,643,861	3,555,876
1年内返済予定の長期借入金	465,502	230,472
未払法人税等	147,043	99,035
賞与引当金	69,480	—
その他	673,880	709,982
流動負債合計	4,684,865	5,268,397
固定負債		
長期借入金	207,335	631,836
資産除去債務	50,560	64,069
繰延税金負債	192,174	268,995
その他	255,733	229,698
固定負債合計	705,803	1,194,599
負債合計	5,390,668	6,462,996
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,917,652	4,917,652
資本剰余金	4,988,692	4,988,692
利益剰余金	6,098,291	6,553,620
自己株式	△364,027	△364,154
株主資本合計	15,640,609	16,095,811
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	368,161	525,481
繰延ヘッジ損益	5,426	3,155
退職給付に係る調整累計額	△19,801	△20,206
その他の包括利益累計額合計	353,786	508,429
純資産合計	15,994,395	16,604,241
負債純資産合計	21,385,063	23,067,238

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
売上高	14,731,149	16,052,332
売上原価	6,057,629	6,751,711
売上総利益	8,673,520	9,300,621
販売費及び一般管理費	8,431,882	8,827,393
営業利益	241,637	473,228
営業外収益		
受取利息	13,049	12,926
受取配当金	24,004	27,155
雇用調整助成金	281,233	200,310
その他	52,801	14,784
営業外収益合計	371,088	255,176
営業外費用		
支払利息	3,656	4,723
為替差損	—	2,122
その他	640	3,255
営業外費用合計	4,297	10,100
経常利益	608,429	718,303
特別損失		
固定資産除却損	1,449	1,571
特別損失合計	1,449	1,571
税金等調整前四半期純利益	606,979	716,732
法人税、住民税及び事業税	124,789	136,155
法人税等調整額	1,967	1,968
法人税等合計	126,757	138,123
四半期純利益	480,222	578,608
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	480,222	578,608

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	480,222	578,608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△242,540	157,320
繰延ヘッジ損益	9,504	△2,271
退職給付に係る調整額	△10,531	△405
その他の包括利益合計	△243,567	154,643
四半期包括利益	236,655	733,252
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	236,655	733,252
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維製品製造販売業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,514,194	216,954	14,731,149	—	14,731,149
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,514,194	216,954	14,731,149	—	14,731,149
セグメント利益	589,763	126,941	716,704	△475,067	241,637

(注)1. セグメント利益の調整額△475,067千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維製品製造販売業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,835,843	216,489	16,052,332	—	16,052,332
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,835,843	216,489	16,052,332	—	16,052,332
セグメント利益	829,075	125,372	954,447	△481,218	473,228

(注)1. セグメント利益の調整額△481,218千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。